

平成 30 年定期総会議案書

日 時：平成 30 年 7 月 7 日（土）

午後 13 時 15 分～午後 13 時 45 分

場 所：こうべまちづくり会館 3F

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第 1 号議案「平成 29 年度（第 14 期）事業経過報告および会計決算報告」

第 2 号議案「平成 29 年度（第 14 期）会計監査報告」

第 3 号議案「平成 30 年度（第 15 期）事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

引き続き 14 時から、第 52 回研修会を開催します。

講演者 湯井恵美子 氏 ((一社)福祉防災コミュニティ協会認定コーチ・防災士)

『熊本地震の被災地支援から学んだこと～災害ボランティア活動を通して～』

14 : 00～16:30 講演および質疑応答

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

【第1号議案】「平成29年度（第14期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

- ① 大阪府立大学高専での「防災工学」
大阪府立大学高専の後期授業15コマを当NPOが受け持ち実施しました。
- ② WG活動の実施
WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で開催しました。旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。
またWG-Cでは微動アレイ探査を用いた活断層調査の検証作業を行いました。
- ③ 研修会（防災講演会）
別紙記載のように、第47～50回の4回実施しました。会員のみならず、一般聴講者も受け入れています。
- ④ 出前講習会等
講演依頼がある際に、NPO会員の中から適切な講師を専任し、出前講習会を行いました。
- ⑤ ニュースレターの発行
1ヶ月～2ヶ月に1回の割合で、ニュースレターを発行しました。
- ⑥ 現地調査用ビブスの製作
NPOが被災地調査を行う際に着衣するためのビブスを20着製作し、調査に行く意志のある会員に配布しました。



(実物はオレンジ色)

個別の活動記録を、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成 29 年度）

定款の 事業名	事業内容	実施日	場所	従事 者数	受益対象 者の範囲 及び人数
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 47 回防災講演会 第 1 部:菅野 拓氏 阪神・淡路大震災記念人と防 災未来センター主任研究員, 第 2 部:河田のどか氏特定非営利活動 法人さくらネット	平成 29 年 5 月 21 日	ドーン センタ ー	1 名	25 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 48 回防災講演会 演 題:『ピンチはチャンス! 防災力 ナンバーワンのまちづくり』 講 師:大阪府高石市 市長 阪口 伸六 氏	平成 29 年 7 月 8 日	こうべ まちづ くり会 館	1 名	27 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 49 回防災講演会 みんなで考えよう 自分のまちの特 性に応じた防災計画、基調講演:室 崎益輝先生 パネルディスカッション:神戸市(清 水陽氏)、京都市(足立和康氏)、泉 南市(岡崎幹男氏)	平成 29 年 8 月 5 日	大阪府 立大学 I-site な んば	4 名	47 名
災害予防・ 災害発生後 の対策提案	WG-D 活動 神戸市渦森台で微動 アレイ探査・表面波探査による活断 層調査法の検証	平成 29 年 10 月 25 日	神戸市 渦森台	2 名	---
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	地区防災計画についての勉強会 講師:京都大学防災研究所 杉山高 志氏 演題:『地区防災計画作成のサポー トをするために備えること』	平成 30 年 1 月 13 日	太田ジ オリサ ーチ大 阪支店	1 名	WG-D 参 加者
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	第 50 回防災講演会 「黒潮町の取組について WE CAN PROJECT」 講 師:高知県黒潮町 産業推進室 産業推進係長 友永 公生氏	平成 30 年 2 月 3 日	ドーン センタ ー	1 名	40 名
防災・減災 対策の研究 および啓蒙 活動	大阪府立大学工業高等専門学校に おける「防災工学」授業、15 コマ	平成 29 年 度後期	大阪府 立大学 高専	8 名	大阪府立 大学高専 5 年生 30 名

平成 29 年度（第 14 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収入	会費・入会金収入	225,000	235,000	10,000	会費 39 名,入会 4 名
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,554,019	2,554,019	0	
	雑収入	20	1	-19	利息
	収入合計	2,779,039	2,789,020	9,981	

	項目	予算	決算	差額	備考
支出	事業費	330,000	388,914	58,914	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	10,000	3,152	-6,848	WG 活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	30,000	35,040	5,040	ビブス 20 セット購入
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	230,000	330,418	100,418	研修会等
	会場借用料	30,000	63,780	33,780	
	印刷費等	130,000	93,835	-36,165	防災講演会が-資料印刷
	講師旅費	60,000	145,000	85,000	会員外の講師旅費
	通信費	10,000	8,003	-1,997	会員へのメール便送料
	その他	0	19,800	19,800	高知黒潮町 缶詰購入
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	30,000	0	-30,000	講師派遣
	前号の活動にかかる費用	20,000	20,304	304	プロバ`ダ`料金等
	ウェブサイト費用	20,000	20,304	304	
	管理費	95,000	70,990	-24,010	
	会議費	10,000	0	-10,000	
	旅費交通費	10,000	0	-10,000	
	備品等整備費	30,000	6,961	-23,039	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手続料	30,000	38,820	8,820	決算登記費用
	交際費	0	12,000	12,000	
	支払い手数料(事務局費)	10,000	13,209	3,209	事務諸費用
	予備費	0	0	0	
	支出合計	425,000	459,904	34,904	
	(単年度収支)	▲ 199,980	▲ 224,903		
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,354,039	2,329,116	-24,923	

【第2号議案】「平成29年度（第14期）会計監査報告」

平成29年度（第14期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

平成29年度（第14期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

私たち会計監査は、平成29年度（第14期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1. 監査実施日時 | 平成30年5月28日 |
| 2. 監査帳簿類 | 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳 |

平成30年5月28日

監事

貴志義昭



平成30年5月28日

監事

諸子順子



【第3号議案】「平成30年度（第15期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

- ⑤ 大阪府立大学高専での「防災工学」
大阪府立大学高専の後期授業15コマを今年度も当NPOが受け持ち実施します。

- ⑥ WG活動の実施
WG-Dの草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で開催します。
WG-Cでは主に物理探査を用いた都市災害関連の調査法の検証作業を行います。

- ⑦ 研修会（防災講演会）
3ヶ月に1回程度の割合で防災講習会を開催します。会員のみならず、一般聴講者も受け入れています。講演時間と質疑応答時間を同等とする独特のスタイルを堅持します。

- ⑧ 出前講習会等
講演依頼がある際に、NPO会員の中から適切な講師を専任し、出前講習会を行います。

- ⑤ ニュースレターの発行
1ヶ月～2ヶ月に1回の割合で、ニュースレターを発行します。

- ⑥ 現地調査用ビブスの製作
災害発生時には、可能な会員がビブスを着用し現地に赴き、ニーズの発掘に努めます。
必要があれば、ビブスを追加製作します。

平成 30 年度（第 15 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収入	会費・入会金収入	235,000	255,000	正 42、賛 1、新入 4
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	2,554,019	2,329,116	
	雑収入	1	1	利息
	収入合計	2,789,020	2,584,117	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支出	事業費	388,914	341,000	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	3,152	10,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	35,040	10,000	ビブス追加購入程度
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	330,418	281,000	研修会等
	会場借用料	63,780	80,000	
	印刷費等	93,835	90,000	防災講演会カー資料印刷
	講師謝礼旅費	145,000	100,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	8,003	10,000	会員へのメール便送料
	その他	19,800	1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,304	20,000	
	ウェブサイト費用	20,304	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	70,990	83,000	
	会議費	0	5,000	
	旅費交通費	0	5,000	旅費
	備品等整備費	6,961	10,000	封筒代等
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	38,820	40,000	決算登記費用
	交際費	12,000	5,000	
	支払い手数料(事務局費)	13,209	13,000	事務諸費用
	予備費	0	0	
支出合計	459,904	424,000		
(単年度収支)	▲ 224,903	▲ 168,999	単年度収入-支出	
当期収支差額（次年度繰越金）	2,329,116	2,160,117		

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	伊藤 東洋雄 (理事長) 石川 浩次 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 太田 英将 (事務局長兼務) 廣野 一道 山田 信祐 北 高徳 西濱 靖雄	監事	貴志 義昭 諸戸 順子
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
地震災害の軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減を 考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。WG-Dと合同で活動を行います。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体(自主防災組織や防災団体など)と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。